

(学年) 第2学年, (教科) 保健体育

一斉学習

(単元) 心肺蘇生法

(本時のねらい)

- ・心肺蘇生法の手順を復習しながら, 理解を深めるための学習を意欲的に取り組むことができる。
- ・心肺蘇生法は, 時間の経過によって生死を分ける場合があることから, 速やかに行う必要があることについて, 理解したことを発言したり, 記述したりすることができる。

(ICT活用方法)

心肺蘇生法の手順や注意事項をより理解するために, デジタル教科書の動画を用いて説明する。また, 心肺蘇生法や AED の使用方法に関しては日本赤十字の動画を視聴させ, 理解を深めさせる。

ノート問題の解説は, マークを付けて説明できるというデジタル教科書の長所を生かして解説をおこなう。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の目標を理解する。	・以前の実習を復習しながら, 本時の目標を理解させる。	
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生と心肺蘇生法の違いや意義について理解する。 ・心肺蘇生法の手順について, 動画を視聴しながら理解する。 ・心肺蘇生法において, 大切であることや, 留意することをペアで話し合い, 発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの使用の3つに分けて説明する。 ・心肺蘇生法の手順を動画を見せながら説明し, 必要ならば動画を静止しながら分かりやすく説明する。 ・細かな数字等はチェックペンでノートに記入させる。 ・時間の経過が生死を分ける場合があることを, ノートの図1を利用して説明する。 ・ペアでの意見交換を積 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の動画を電子黒板にて視聴する。 ・日本赤十字の動画を電子黒板にて視聴する。 ・デジタル教科書の図を電子黒板に写しだし説明する。

		極的に行わせ，説明・発表ができるよう指導する。	
まとめ 5分	・本時のまとめをする。	・本時のまとめを行い，学んだことを将来生かせるように指導する。	

(授業の様子)



心肺蘇生法の動画を視聴している様子



デジタル教科書を用いて説明している様子

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

心肺蘇生法や AED についての動画は視覚的に理解しやすく，生徒の深い学びにつながったと感じる。デジタル教科書の使い方に慣れていない部分があるので，今後の授業で電子黒板を積極的に活用することと，教材研究が必要であると感じた。

生徒が 1 人 1 台端末を使用し，課題学習をおこなうといった授業にも挑戦していきたいと感じた。